

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-190	14-087	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Lower Breast Cancer Risk among Women following the World Cancer Research Fund and American Institute for Cancer Research Lifestyle Recommendations: EpiGEICAM Case-Control Study.</p> <p>World Cancer Research Fund (WCRF) と American Institute for Cancer Research (AICR) の生活習慣への提言に従うことは乳がん発症を低減する : EpiGEICAM Case-Control Study による解析</p>		
執筆者		
Castelló A, Martín M, Ruiz A, Casas AM, Baena-Cañada JM, Lope V, et al.		
掲載誌		
PLoS One. 2015;10(5):e0126096. doi: 10.1371/journal.pone.0126096.		
キーワード		PMID
がん予防、生活習慣、スペイン、乳がん		25978407
要 旨		
目的：		
World Cancer Research Fund (WCRF) と American Institute for Cancer Research (AICR) によると、健康的な食事摂取、体重管理、運動などにより、4人に1人のがんが予防されると報告されている。本研究の目的は、WCRF/AICR のがん予防提言と乳がん発症の関連を評価することである。		
方法：		
2006年から2011年の期間にスペイン17地域でケース・コントロール研究が実施され、973名の乳がんケースと973名のコントロールが対象となった。World Cancer Research Fund (WCRF) と American Institute for Cancer Research (AICR) の生活習慣への提言からなるスコアを定義し、対象者のスコアを算出した。1) 適切な体重を維持していること; 2) 運動活動があること; 3) 高コレステロール食を制限すること; 4) 食物性食物をよく食べること; 5) 動物性食物を制限すること; 6) 飲酒を制限すること; 7) 食塩や塩蔵食品を制限すること; 8) 食事から栄養を摂取すること; S1) 6ヶ月まで母乳をあたえている。これらのがん予防提言と乳がんリスクの関連を閉経状態と腫瘍タイプ (ER+/PR+ & HER2-; HER2+; ER&PR-&HER2-) ごとに評価を行なった。解析には条件つきロジスティック回帰と多項ロジスティック回帰を用いた。		
結果：		
まず、提言スコアの合計が低いほど、乳がんとの関連が強くなる線形の傾向が示された。合計スコアが6つ以上を対照にした場合、合計スコアが3つ以下はオッズ比 (95%信頼区間) が 2.98(1.59-5.59)倍であった。サブグループ解析によると、閉経後では 3.60(1.24-10.47)倍、ER+/PR+ & HER2-では 3.60(1.84-7.05)倍、HER2+では 4.23(1.66-10.78)倍であった。特に、閉経前と ER&PR-&HER2- のサブグループでは、食事・飲酒に関する提言を実施していないと体重が増加する傾向がみられた。また、食物性食品の摂取の項目について、閉経後で 2.35(1.24-4.44)倍、ER&PR-&HER2-で 3.48(1.46-8.31)倍となり、飲酒の項目について、ER+/PR+ & HER2-では 1.52(1.06-2.19)倍となるなど、最も強い関連が報告された。		
結論：		
World Cancer Research Fund (WCRF) と American Institute for Cancer Research (AICR)の薦めるがん予防提言は、既に高い割合で提言を遵守しているスペイン人においても乳がん予防に効果的であることが示唆された。		